

前田れいこ後援会の募集

こんな取り組みをしています。是非応援してください！

- ・この街をさらに住みよくするために
- ・誰もが通る介護問題解決のために本当の介護現場を知る議員を応援したい
- ・子ども、女性、高齢者に寄り添った施策を実現させたい
- ・地元経済活性化について一緒に考えたい
- ・防災に強い矢作地区を共に考えたい
- ・女性議員を増やしていきたい（岡崎市議会は 37 人中、女性議員はたったの 5 人！）
- ・とにかく前田れいこを応援したい

ご入会者の
特典

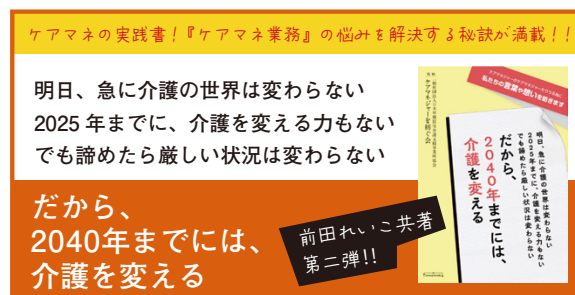
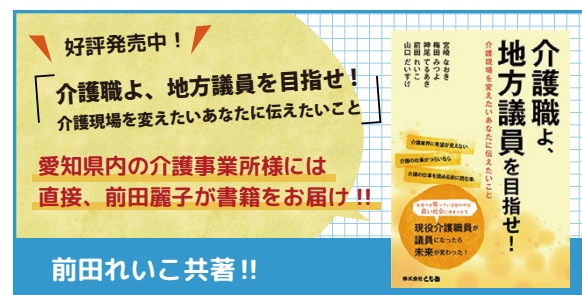
「前田れいこ通信」を岡崎市市議会の定例会後市政レポートとして定期にお届けいたします。

前田れいこ後援会
申し込みフォームはこちら



前田れいこホームページはこちら

<https://maeda-reiko.waganse-company.com>



【前田れいこ 自己紹介】（岡崎市議会自民清風会所属）

岡崎市東牧内町在住。金城学院大学文学部社会学科卒業。介護現場 20 年。
介護ヘルパー、特別養護老人ホーム、デイサービス勤務後、ケアマネジャー資格取得後。
平成 28 年よりあすなるケアプラン開業。
ケアマネジャーを紡ぐ会副会長（全国のケアマネジャー 3000 人が会員）。
現役ケアマネジャーとして現在も介護現場で働きながら議員活動をしている。
家族は夫（会社員）、長女（24 歳）、長男（21 歳）、ダックスフンド 2 匹（ともに 14 歳）。



Instagramはこちら

<https://www.instagram.com/reiko.maeda1/>



ブログはこちら

<https://blog.waganse-company.com>

連絡先

住所：（前田れいこ後援会事務局）岡崎市東牧内町字堤外 91-6 電話：0564-32-7726（あすなるケアプラン内）
お問い合わせ：自民清風会 岡崎市十王町 2 丁目 9 番地（西庁舎 2 階） 0564-23-6390

MAEDA REIKO REPORT

前田れいこ通信 2023 秋号

岡崎市議会議員

介護現場 20 年

子育てケアマネジャーの 岡崎改革

ご挨拶

新たな一歩、後援会発足のお知らせ

岡崎市議会議員の前田麗子です。

今回、私たちの活動をより一層推進し、岡崎市の未来を共に創造するため、新たに後援会を発足することとなりました。

後援会は、私たちの活動を支え、市民の皆様と直接つながる場になります。皆様からの意見や提案を共有し、市政に届け反映することで、一緒に岡崎市をより良い街にしていきたいと思います。

これまで働く女性の思いを岡崎市政に届けること、笑顔で介護ができる街づくりを公約に取り組みで参りましたが、女性の立場で、また、介護に携わるプロとして声を上げる必要性を多くの方に共感していただきました。女性が活躍できる、安心して介護や子育てができる岡崎市にするため、引き続き介護・子育て・教育などの課題への取り組みを続けて参ります。そして皆様一人ひとりの思いを大切に、岡崎市がさらに住みやすい街になるよう尽力していくことを約束します。

後援会へのご参加、そして私たちの活動へのご支援を心よりお待ちしております。

一緒に岡崎市の未来を創造しましょう。

前田麗子

前田れいこ岡崎市議会市政レポート

一般質問（皆勤賞!!）

令和5年9月定例議会における一般質問では「介護保険認定について」、「介護予防について」、「総合事業のケアプランについて」以上3点を質問いたしました。

その中でも介護認定の遅れに関しては、すでに市内の介護が必要な方・介護をするご家族・介護サービスを提供する介護事業所に深刻な影響が出ており、直ちに取り掛からなければいけない問題です。

制度上、申請から30日以内に認定結果を通知しなければならないとされていますが、**岡崎市では令和5年4月には63.3日を要する状況**です。

認定されるまでの間は、ケアマネジャーは暫定ケアプランを作成します。その間は必要なサービスを受けるよりも、高額にもなり得る利用者の自費負担が無いように、本来は週4回行くべきデイサービスであっても週2回で抑えざるを得ないのが暫定ケアプランです。

この問題の本質は認定が遅れたり、暫定ケアプランの期間が長くなることではなく、必要なサービスを利用できずに状態の悪化も懸念されることです。

この問題を質問した所、市長より前向きなご答弁をいただきましたのでご報告いたします。



質問

介護認定遅れにより利用者やケアマネジャーに影響が出ていますが遅れに対する取組や、今後の対策として考えていることを教えてください。

回答

介護認定の遅れは、利用者やケアマネジャーに大きな負担をかけています。市では、利用者やケアマネジャーへの説明や支援、調査員の確保と増員、新型コロナウイルス感染症に対応した臨時的な取扱いの再開などを行っていきます。来年度以降も、調査実施体制と執務体制を見直し、予算案として議会にお諮りする予定です。

新聞掲載について

左記令和5年9月定例会の一般質問が中日新聞に取り上げられました!!



介護現場の課題に世間の目を向けさせる役割がある

今回の介護認定の遅れが介護を受ける利用者、介護をするご家族、サービスを提供する介護事業所にどのような影響を及ぼすのか、現役のケアマネジャーだからこそわかることがあります。

認定の遅れからは、

- ① **必要なサービスが受けれない**
- ② **自費を支払う恐れがある**

だけではなく、利用者の状態悪化につながり、それが介護者家族へかかる負担として現れてきます。

このような介護の現実を知る現役のケアマネジャー議員だからこそ、介護問題の本質に世間の目を向けさせることができると考えます。

これからも市民の皆様と一緒に、介護の問題解決に努めて参りますのでお力添えをよろしくお願いいたします。

花巻市へ保育士応援事業の視察

待機児童対策と保育士不足解消を目指して保育士応援事業を展開する花巻市へ視察・調査に行きました

花巻市は保育士不足対策として11項目の応援事業を展開しています。資金はふるさと納税の46億円から確保され、使用目的も明示されています。保育士と介護職の待遇問題は似ており、問題解決には地方だけでは対応が難しく、国の支援が必要だと感じました。この視察を基に、しっかり岡崎市へ提言していきます。

